

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
アプリ児童デイサービス陽だまりの丘		R 7 年 2 月 21 日				
		チェック項目		工夫している点	課題や改善すべき点	
		はい	いいえ			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	広さは十分と思われます。	学習など個別に出来る仕切りがあると集中できるかもしれません。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	3	不足時には近くのアプリと相談して調整しています。	不足みではある。パートさんの世帯所得による制限などから年末に不足してくるケースが見られる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	室内に関してはバリアフリー化がされています。危険物は児童の手の届かない場所、鍵のかかる箇所に保管されています。	玄関に階段がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		毎日清掃・除菌を行っています。おやつや食事の前の除菌も行います。	冬場は温度が低めの時があります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	3	児童や状況に応じて事務所などの部屋を使うことで個別に対応することは可能です	虐待防止の観点から、個別の部屋はありません
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		毎日のミーティング、月毎の研修に参加しています。	パートさんは出勤時間が遅くミーティングには参加できませんが、個別に話をして情報共有しています
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		毎年のアンケートで集計し業務改善につなげています。	改善が難しい点をどのように対応するかが今後の課題になっています
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		毎日のミーティングや研修でカンファレンスを行っています。	改善後のフィードバック後、職員間での意見すりあわせの時期を早めて改善サイクルを早めて行くことが今後の課題です
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1	監査役会が社外監査役で構成されています。適時内部監査室との連携でグループ各社の監査を実施し評価しています。	外部監査にこだわらず日頃から評価内容を吟味し施設内での改善につなげていく必要があると思われる。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		サービス責任者・児発管・強度行動障害など受講や社内での研修の機会が設けられています。	研修の内容など職員間での共有を行い、職員全体の資質の向上を図るとおなじい。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		毎月の会議で更新される児童のカンファレンスを行っています。	会議に参加できなかった場合などでも、後から情報共有を行うことや各自で書庫の資料を見る機会があります。自発的に確認出来る時間があればより良くなると思います。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		毎月の会議で更新される児童のカンファレンスを行い、レクリエーションや学習内容に反映しています。	児童が飽きることの無いように、極力違うレクリエーションを毎日行えるように努めます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		毎月の会議で更新される児童のカンファレンスを行っています。	情報共有だけでなく、スキル獲得の方法なども話し合うことでより児童の成長を促すように努めます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		毎月の会議で更新される児童のカンファレンスを行っています。	児童の成長に合わせ、その都度カンファレンスを行う必要があると認識はしていますが、職員全体で行うことが難しい場合もあり、情報共有に遅れがみられることもあります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2	児童に合わせて標準化されたツール、独自に作成したものなどを用いて確認しています。	的確なアセスメントが確認されていると思われませんが、職員間での共有まで行き届いていない場合も見られ改善が必要と感じます。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		毎月の会議で更新される児童のカンファレンスを行うことで、的確な支援内容が設定されていると思います。	支援内容においてうまくいかない場合があり、適時変更が必要とされる場合もみられ、短期スパンでの支援計画を設定する必要があるとみられます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		会議・ミーティングなどで意見を出し合い、研修で職員資質の向上を行い一丸となって支援を行っています。	人員不足の時など、担当以外の業務が割り振られてしまうこともありながらも助け合いながら支援が行われていると思います。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		毎日担当者を変えながらプログラムを作成しています。前日、先週などを意識しながら固定化しないように努めています。	児童によっては、継続して学習・レクリエーションをすることで学びやスキル獲得が見られるので、固定化が一概に良くないとは言えないこともあります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		学習やレクリエーションなど、個別に対応できることでは個人の能力などを考慮していません。集団活動でも人間関係などの成長が見られるので、少なからず集団活動も行っています。	他人に興味が無い児童などは集団活動に力を入れ、スキル・学習などでは個別に伸ばす必要があると思われます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		毎日のミーティングで振り返り、打ち合わせを行っています。	パート社員などは出勤が遅いこともあり十分に伝えられないこともあります。ミーティングの様子を録画し見てもらえるように務めています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		毎日のミーティングで振り返り、打ち合わせを行っています。	送迎後の帰所時間が違うため後日のミーティングで行っているため、どうしても情報共有にはラグが生じます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		経過票、通所ノート、施設にある連絡ノートで記録を取っています。	連絡ノートを活用していますが、一部の職員しか書き込んでいないため、全ての職員が活用できるようにしたいと思っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		毎月の会議で更新される児童のモニタリングを行っています。その都度計画の見直しが必要と判断される児童について話し合いの場も持つことができています。	会議の時に名前が上がらず次回の会議に持ち越になる児童なども見られ、会議前に確認する必要はあります。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8		基本的に漏れの無いように支援計画を立てています。	特に問題はないと思います。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	8		工作などでは個性を伸ばすためにあまり助言をしないこともあります。おやつなどでもおかわりの時には好きなお菓子を選ぶなど選択できる力を育てることが出来る支援を行っています。	ルールを逸脱することも散見するため、自己選択できること・できないことを事前に説明し、ルールの中で自己選択が出来るように支援を行う必要が見られます。
適切な支援の提供	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		管理者もしくは児発管が参加しています。	特に問題はないと思います。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		送迎時などに学校の先生と話をする機会があります。ケースによっては担当医や障害福祉職員との連携もあります。	特に問題はないと思います。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		送迎時などに学校の先生と話をする機会があります。支援学校などでは年間計画をお知らせしてくれるので助かっています。	送迎が遅くなってしまふ場合には担任の先生に連絡を行いトラブルが発生しないように努めていますが、保護者様や学校からの連絡漏れが時折みられることもあります。

関係機関 関係保護者との 連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		アプリキッズを利用していた児童の利用が多く、施設間で情報共有を綿密に行っています。他の施設や学校からでも一度担任の先生と話ができる機会を設けています。	特に問題はないと思います。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		卒業前に移行先へ見学に行き、話をする機会を設けています。	就労先がある場合は作業の内容などを把握し、卒業までに練習を行う機会を設けています。他にも整容や挨拶などの一般常識を学ぶ機会を設けていきたいと考えています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2	発達支援センターとの連携は行っています。	研修の機会もありますが、参加が困難な日時が多く参加できないことが多くみられます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	5	全くと言っていいほどありません。公園遊びなどで一緒に遊ぶことはあります。	固定観念や世間一般の見目から一緒に活動を断られるケースが多く、交流の機会を断念しています。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2	協議会で連絡会を作って頂いているので、参加が可能な場合には極力参加しています。	日程や時間で参加できないこともあります。管理者や児発管以外の職員の参加も考慮し積極的に参加できるように努めます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		帰宅送迎時にその日のことを話して家庭でも伝えて頂くことがあります。支援計画更新前には懇談を行い情報共有しています。	帰宅時など時間の制限があり、最低限の会話で終了してしまうこともあります。定期的に話をする機会を設けることができればと思います。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3	現在、家族支援プログラムや研修の機会はありません。情報提供は行っています。	助言などは行っていますが、研修の機会はありません。今後ご家族様が参加出来る研修の機会などもできるとよりよくなると思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時に説明しています。	十分な時間を取れず説明が不十分な時もあります。利用を進めてから順次説明が出来るように努めております。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		懇談の機会を設けてアセスメントの確認や、児童・保護者の意向も踏まえて支援計画・プログラムの作成を行っております。	懇談の機会がない場合もあり、送迎時などの時間に確認はしていますが、十分な時間がとれていない場合もあります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		支援計画書を作成後、児童の現在の状況(モニタリング)も含めて説明しています。	説明に十分な時間が取れない場合もあります。詳細に説明を行い保護者の方から理解をして頂けるように努めたいと思います。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		送迎時に保護者様と話すことがあるので、その都度確認はしています。学校などからも情報を得て必要に応じ相談に応じています。	家庭の問題に踏み込みすぎないように助言が行える等に注意しています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	4	現在は保護者会、交流の機会ともありません。兄弟同士での交流の機会もほぼありません。	保護者会は行っていませんが、保護者間での情報共有は行われています。兄弟間では基本的に他のデイを利用するケースが多く交流する機会はありません。保護者様からの依頼があれば保護者会などを行いたいと思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		苦情については問題の本質をとらえ、早急に対応すると共に職員間での共有を行い再発防止に努めております。	苦情の内容によっては早急な対応ができないこともあります。その都度状況をお知らせしながら対応を行っております。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	2	特別なイベントなどはお知らせすることもあります。基本的には活動内容以外はお知らせする事はありません。	ブログは全社的に禁止になり、個別に活動の様子などを発信しています。会社のHPで定期的に療育の様子を掲載しています。
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		室内の掲示物などには注意を払っています。第三者の目の触れないように個人情報は鍵付き書庫で保管しています。	特に問題はないと思います。	

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		児童に合わせて意思の疎通をはかるためのツールなども用いています。保護者様とはお電話やメールにて情報伝達を行っています。	会話のできない児童に合わせてよりよいツールがあればと思います。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6	地域住民を招待する行事は行っていませんが、地域に根差した運営ができるように工夫しています。	イベントへの参加やゴミ拾いなどで地域に根差した運営を行っています。機会があれば地域住民を招待できる行事も行いたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		各種マニュアル類を策定しています。定期的な防災訓練も行っていきます。	職員への周知は行っていますが、ご家族様への周知は行われていないため、今後も訓練の頻度を高めて理解して頂けるように努めてまいります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		本社の指示により計画を策定し、定期的な訓練を行っています。	日時的に訓練に参加できない児童もいるため、訓練の頻度を上げる必要はあるかもしれませんが。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		服薬票を作成し管理しています。発作など持病のある児童についてもミーティングなどで情報共有しています。	成長につれ状況が変わることも多く、その都度ご家族様に確認する必要があります。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		アレルギー一覧表を作成しおやつ提供などには注意しています。	お菓子の成分表を確認してはいるが、毎回ではなく購入時に誰でもわかるようにする必要はあると思います。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		計画の作成、研修や訓練など定期的に行い支援が行われています。	計画の範囲外の事象も見られ、見直しが必要とされることもあります。見直しの頻度を多く行い安全に配慮する必要があります。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		緊急時の対応や救急の手配時などの連絡や方法などをお伝えしてあります。	全てのご家庭に確認してはいるが、周知できていると思います。懇談時に再度徹底できるように配慮致します。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		発生時にヒヤリハットを作成、職員間で共有している。全国の店舗ヒヤリハットの共有も行い、自施設で発生しないように注意を促している。	再発防止に関しては徹底しているが、それでも思いがけない事故は発生します。危険予知訓練など会議の際に行い事故防止に努めたいと思います。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		委員会や研修で職員にお伝えしています。全国のニュースなどでも発生した事例をその都度共有して発生防止に努めています。	研修でアンガーマネジメントなどを学び、必要な時には対応職員が交代するなどしています。現時点では問題はありません。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		以前は身体拘束の対象者がいたので、家族への了承をとっていました。現時点では対象者はおりません。	対象となる児童はいませんが、自傷がある児童についてはご家族様と相談し決めていきたいと思っています。	